

2013年3月期 決算説明会資料

2013.5.23



三信電気株式会社
代表取締役社長 松永 光正
(証券コード:8150)

資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因として主なものは以下の通りです。

- 日本・北米・アジア等の経済情勢、消費動向
- 販売先の生産動向や製品開発
- 仕入先の供給状況や製品開発
- 競争激化による価格下落
- 為替相場の大幅な変動等

. 2013年3月期

業績概要

売上高は前期比 + 3% (TOY分野 + 91%、TOY分野以外 15%)

営業利益/経常利益/当期純利益は、売上高増加/総利益率改善/販管費削減により大幅増益

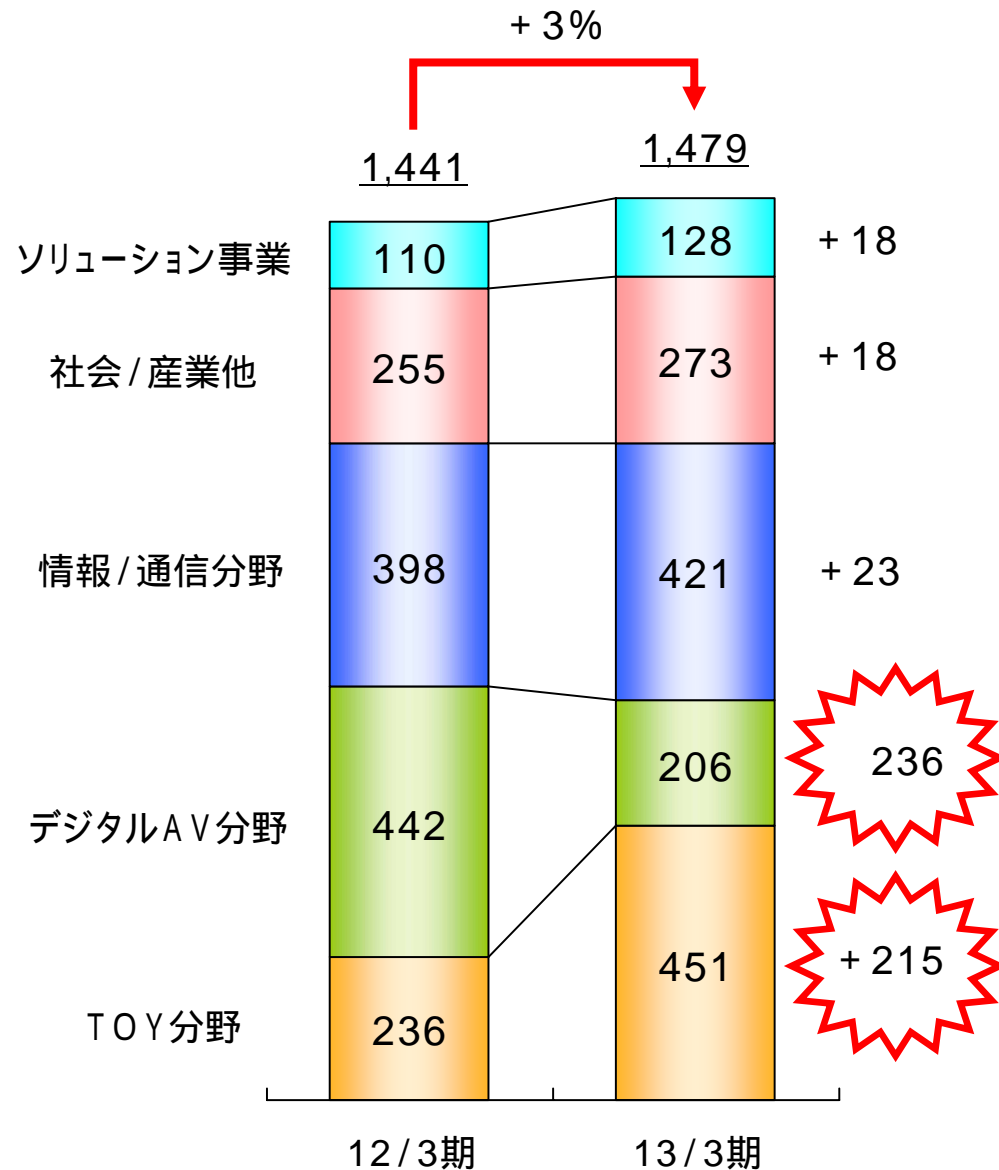
	12/3期 実績	13/3期 実績	前期比	※ 予想	達成率
売上高	1,441.6	1,479.6	103%	1,650.0	90%
売上総利益	7.2% 104.4	7.5% 110.6	106%	6.5% 107.2	103%
販管費	6.5% 94.3	6.1% 90.3	96%	5.6% 92.2	98%
営業利益	0.7% 10.1	1.4% 20.3	201%	0.9% 15.0	135%
経常利益	0.6% 8.0	1.1% 16.3	203%	1.0% 16.0	102%
当期純利益	0.4% 5.2	0.8% 11.3	219%	0.7% 11.0	103%
連結ROE	0.9%	1.9%	増減 +1.0P	1.9%	増減 ±0P
換算レート (1米ドル)	¥79.07	¥83.11	増減 +¥4.04	¥80.00	増減 +¥3.11

予想は、平成24年11月6日(第2四半期決算)に発表した予想数値

デバイス事業は、売上高微増もセグメント利益で前期比 + 59%の増加
 TOY分野の売上高が拡大、総利益率の改善、販管費の削減
 ソリューション事業は、売上高増加によりセグメント利益は前期比で+2.8億円
 消防防災や組み込みシステムの売上高が増加、販管費の削減

		12/3期 実績	13/3期 実績	前期比	※ 予想	達成率
デバイス 事業	売上高	1,331.3	1,351.1	101%	1,520.0	89%
	セグメント利益	0.3% 4.0	0.5% 6.3	159%	0.6% 9.0	70%
ソリューション 事業	売上高	110.3	128.5	117%	130.0	99%
	セグメント利益	8.4% 9.3	9.4% 12.1	131%	7.7% 10.0	121%
調整額	セグメント利益	△ 5.2	△ 2.2	41%	△ 3.0	72%
換算レート (1米ドル)		¥79.07	¥83.11	増減 +¥4.04	¥80.00	増減 +¥3.11

セグメント利益の調整額は、各事業に配分していない管理部門に関わる費用などが含まれています。
 予想は、平成24年11月6日(第2四半期決算)に発表した予想数値



デジタルAV分野の減少を
主にTOY分野でリカバー

ソリューション事業
消防防災/組み込みシステムが増加

社会/産業他
社会インフラ/車載向けは堅調に推移

情報/通信分野
モバイル向けは堅調に推移

デジタルAV分野
TV/BD向けが減少

TOY分野
新規セットの立上げにより増加

. 2014年3月期

通期業績予想

通期売上高は前期比+15%（前年同期比:上期 +16%、下期 +14%）

通期経常利益/当期純利益は、売上高の増加により前期比で約20%成長を見込む
市場の回復、新規セットの立ち上げは第2四半期以降、下期で拡大の見通し

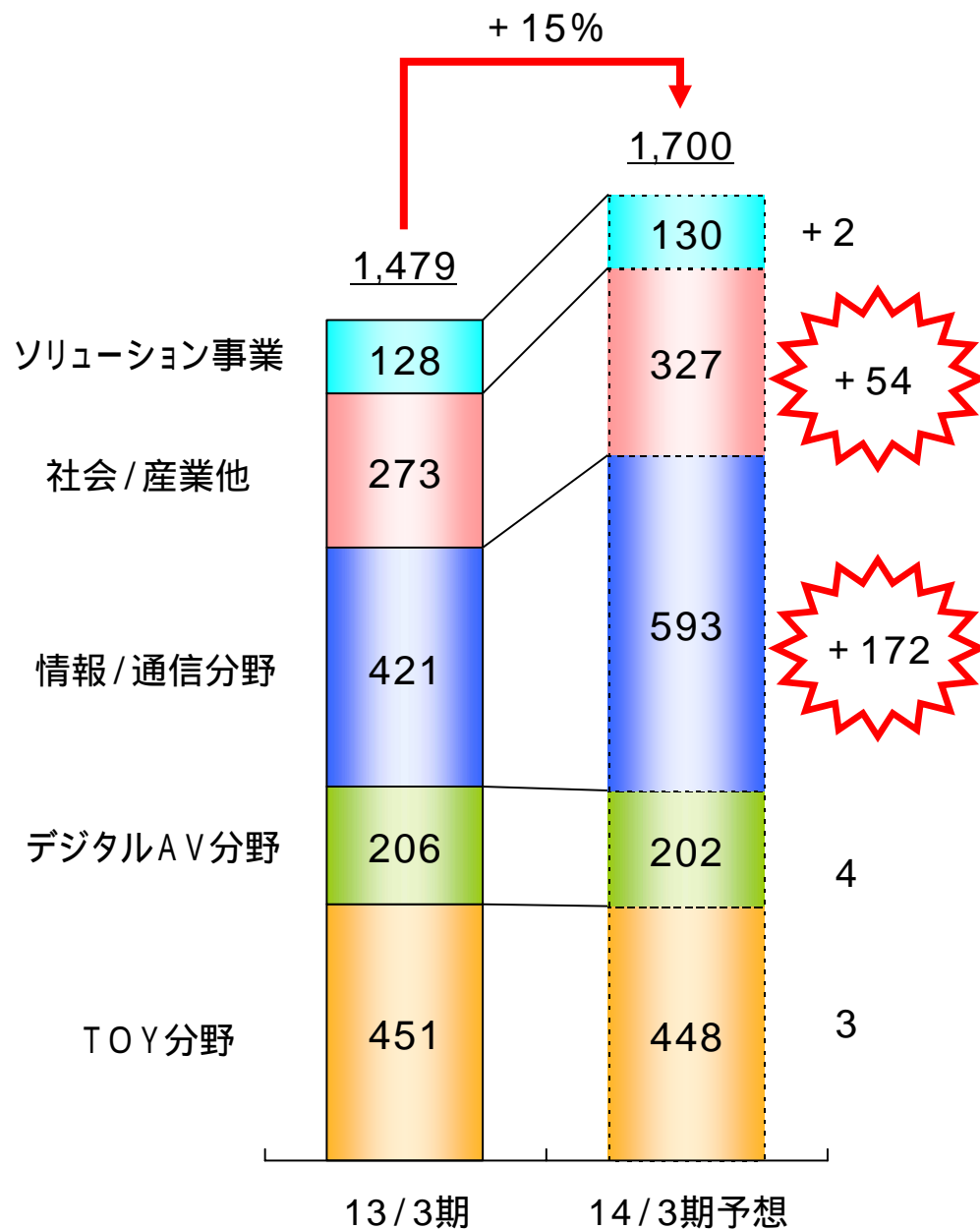
	12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期		前期比	
			上期	下期		通期予想
売上高	1,441.6	1,479.6	800.0	900.0	1,700.0	115%
売上総利益	7.2% 104.4	7.5% 110.6	6.9% 55.3	7.0% 63.1	7.0% 118.4	107%
販管費	6.5% 94.3	6.1% 90.3	6.1% 48.8	5.5% 49.6	5.8% 98.4	109%
営業利益	0.7% 10.1	1.4% 20.3	0.8% 6.5	1.5% 13.5	1.2% 20.0	98%
経常利益	0.6% 8.0	1.1% 16.3	0.8% 6.5	1.5% 13.5	1.2% 20.0	123%
当期純利益	0.4% 5.2	0.8% 11.3	0.5% 4.0	1.1% 10.0	0.8% 14.0	124%
連結ROE	0.9%	1.9%	-	-	2.3%	増減 +0.4P
換算レート (1米ドル)	¥79.07	¥83.11	¥90.00	¥90.00	¥90.00	増減 +¥6.89

デバイス事業は増収増益も回復途上、第2四半期以降の拡大を見込む

ソリューション事業は売上高微増、人員増強、調整額の配賦変更でセグメント利益減少

		12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期		前期比	
				上期	下期		通期予想
デバイス 事業	売上高	1,331.3	1,351.1	750.0	820.0	1,570.0	116%
	セグメント利益	0.3% 4.0	0.5% 6.3	0.5% 3.5	0.8% 6.5	0.6% 10.0	158%
ソリューション 事業	売上高	110.3	128.5	50.0	80.0	130.0	101%
	セグメント利益	8.4% 9.3	9.4% 12.1	6.0% 3.0	8.8% 7.0	7.7% 10.0	82%
調整額	セグメント利益	△ 5.2	△ 2.2	-	-	-	-
換算レート (1米ドル)		¥79.07	¥83.11	¥90.00	¥90.00	¥90.00	増減 + ¥6.89

管理部門に関わる費用などのセグメント利益調整額は、14年3月期より全額を各事業に配賦しております。



情報/通信/社会/産業他分野

の拡大を見込む

ソリューション事業

組み込みシステムが増加

社会/産業他

社会インフラ/車載向け、新規Bizの増加

情報/通信分野

モバイル向けは順調に拡大

デジタルAV分野

TV/BD向けが減少も下げ止まり

TOY分野

2Q以降の回復に期待、通期で横這い

. 経営方針 / 重点課題

新たな視点 & 取り組みを導入し、強い収益体質を構築する

当社グループの状況

< セグメント利益 >

ソリューション事業がデバイス事業を上回る
 デバイス事業は特定分野減少による収益低迷
 ソリューション事業は着実に収益構造を改善

デバイス
34%

ソリューション
66%

< 13/3期実績 >

今後の経営方針

デバイス事業の
収益基盤の立て直し

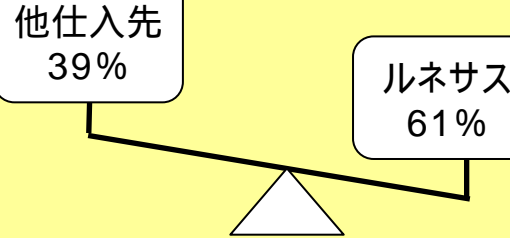
ソリューション事業の
安定した収益確保

デバイス事業の状況

将来構想

仕入先

<仕入先別売上高>
顧客ニーズに迅速に対応できる幅広い商品ラインアップが求められる。



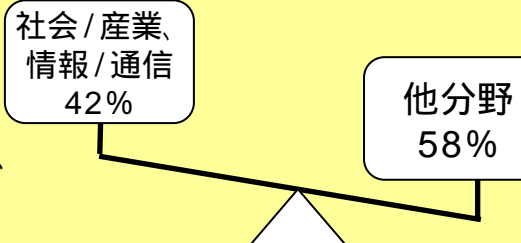
<13/3期実績>

他仕入先
50%

ルネサス
50%

分野

<分野別売上高>
成長が見込める社会/産業や情報/通信等の成長分野向けの比率が低い。



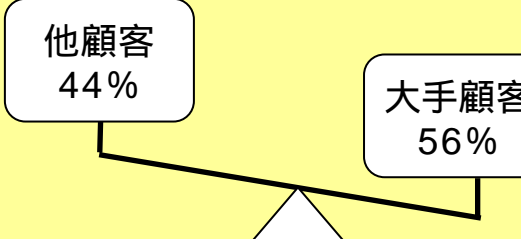
<13/3期実績>

社会/産業、
情報/通信
50%

他分野
50%

顧客

<顧客別売上高>
顧客業績や特定分野の市場低迷を補完できる顧客層が重要。



<13/3期実績>

他顧客
50%

大手顧客
50%

1. 既存仕入先の拡販強化による収益確保

- ・販売戦略の見極め、重点製品の拡販に注力

2. 海外事業の強化

国内営業部門との連携、現法体制の強化、現地社員の育成
中華圏におけるビジネス地域拡大への対応

3. 新規仕入先の開拓

- ・新規商材ビジネスを推進する主管部門を核に国内外の連携を強化
有望商材の発掘と取捨選択を継続
当期は13社の新規仕入先を着実に立ち上げ

4. 既存顧客の拡販強化と新規顧客の開拓

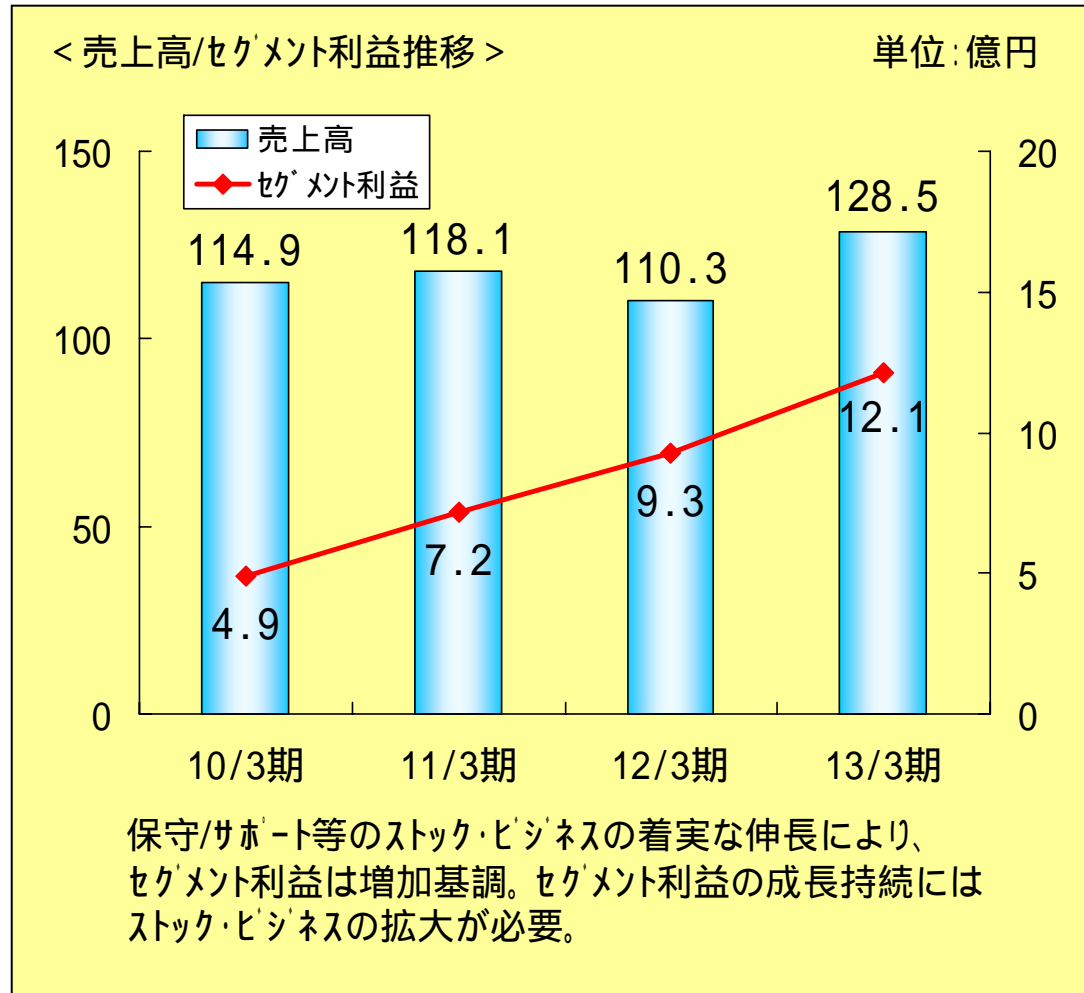
大手顧客、中堅顧客とも顧客ニーズを見極め、徹底した深堀を推進
新規商材を活用した新規顧客開拓に注力(特に社会インフラ/産業分野)

5. ビジネススキームの創造

システム提案型セールスの強化
部品指向に留まらない様々な顧客ニーズを発掘し、ビジネス機会を創造

ソリューション事業の状況

今後の展開



セグメント利益は
4年間で約2.5倍に
拡大

事業環境に関わらず
ミニマムで10億円
以上のセグメント利
益を確保

1. スtock・ビジネスの起点となるハード/システム販売の拡大

ビジネスユニット別に拡販を強化

NW	キーアカウントの深耕
公共	官公庁向けの深耕、消防防災の需要取り込み
組み込みシステム	顧客密着による新規ビジネスの発掘
APソフト	クラウド化・オープン化対応の強化
映像	システム案件の着実な受注、新規IPTV市場の開拓

仕入先、協業パートナーとの連携強化

2. ハード/システム販売後の保守/サポートサービスの確実な受注

顧客ニーズを捉えた新サポートメニューの創造

三信オリジナルメニューによる水平展開、協業パートナーとの連携強化

技術資格の取得推進による技術力UP

・財務状況

	12年3月末 実績 A	13年3月末 実績 B	B - A 増減	14年3月末 予想 C	C - B 増減
現預金	152.4	111.6	△ 40.7	120.0	8.4
売掛債権	386.8	388.4	1.7	445.0	56.6
棚卸資産	163.3	227.0	63.7	190.0	△ 37.0
その他資産	96.4	102.0	5.6	105.0	3.0
資産合計	798.8	829.2	30.3	860.0	30.8
買掛債務	157.8	168.0	10.2	190.0	22.1
有利子負債	34.7	33.6	△ 1.1	33.6	0.0
その他負債	19.2	28.5	9.3	28.9	0.4
純資産合計	587.2	599.2	12.0	607.5	8.3
負債・純資産合計	798.8	829.2	30.3	860.0	30.8
自己資本比率	73.5%	72.3%	△1.2P	70.6%	△1.7P

	12年3月期 実績	13年3月期 実績	14年3月期 予想
売上債権の減少 (は増加)	157.3	21.1	△ 56.6
棚卸資産の減少 (は増加)	44.3	△ 55.2	37.1
仕入債務の増加 (は減少)	△ 71.8	△ 1.0	22.1
その他	17.9	0.3	13.9
営業C/F	147.7	△ 34.8	16.4
投資C/F	△ 8.3	7.6	△ 2.0
財務C/F	△ 55.5	△ 16.6	△ 6.0
換算差額	0.2	2.9	
現預金の増減額	84.1	△ 40.9	8.4
新規連結に伴う現預金の増加		0.2	
現預金の期末残高	152.4	111.6	120.0

	10/3期 実績	11/3期 実績	12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期 予想
連結当期純利益	1,340百万円	1,448百万円	516百万円	1,131百万円	1,400百万円
包括利益	1,223百万円	637百万円	492百万円	2,035百万円	-
連結自己資本比率	68.6%	64.5%	73.5%	72.3%	70.6%
配当総額 (1株当り配当)	605百万円 (20円)	605百万円 (20円)	595百万円 (20円)	580百万円 (20円)	576百万円 (20円)
連結配当性向	45.2%	41.8%	117.0%	51.7%	41.1%
自己株式取得総額 (取得株式数)	-	-	766百万円 (1,000千株)	321百万円 (500千株)	-
総還元性向 (+) ÷	45.2%	41.8%	263.9%	79.7%	-
自己株式消却	1,702千株	-	-	-	-
期末発行済株式総数 (自己株式除く)	30,281千株 (30,280千株)	30,281千株 (30,280千株)	30,281千株 (29,280千株)	30,281千株 (28,779千株)	30,281千株 (28,779千株)
1株当たり当期純利益	44.28円	47.81円	17.10円	38.67円	48.65円
1株当たり純資産	1,967.08円	1,968.14円	2,005.34円	2,081.88円	2,110.85円

1. 自己株式取得株式数には単元未満株式の買取請求に伴う取得分は含まれておりません。
2. 1株当り当期純利益は期中平均発行済株式数(自己株式除く)で算出しております。
3. 1株当り純資産は期末発行済株式総数(自己株式除く)で算出しております。
4. 14/3期予想における1株当り当期純利益および1株当り純資産は13/3期の期末発行済み株式総数(自己株式除く)で算出しております。

基本方針

- ・利益還元の拡大と内部留保の充実

14年3月期 配当予想

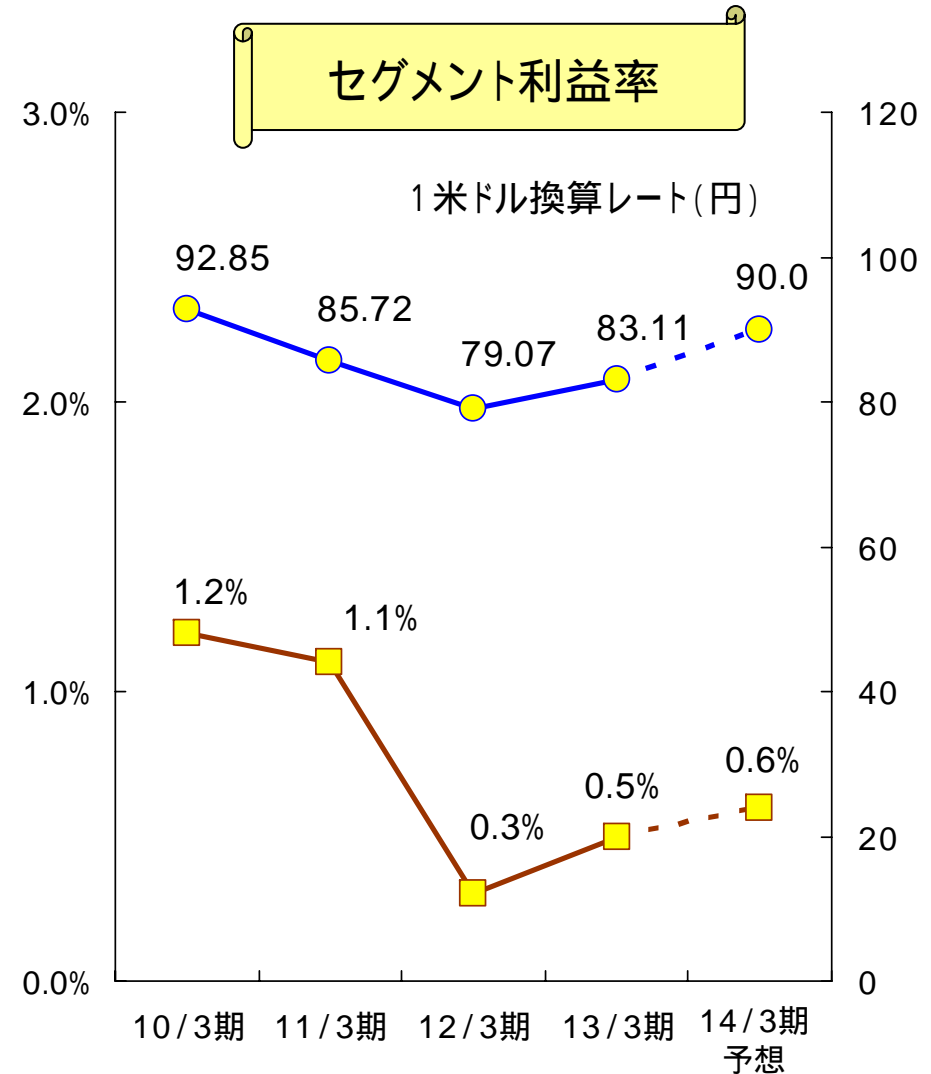
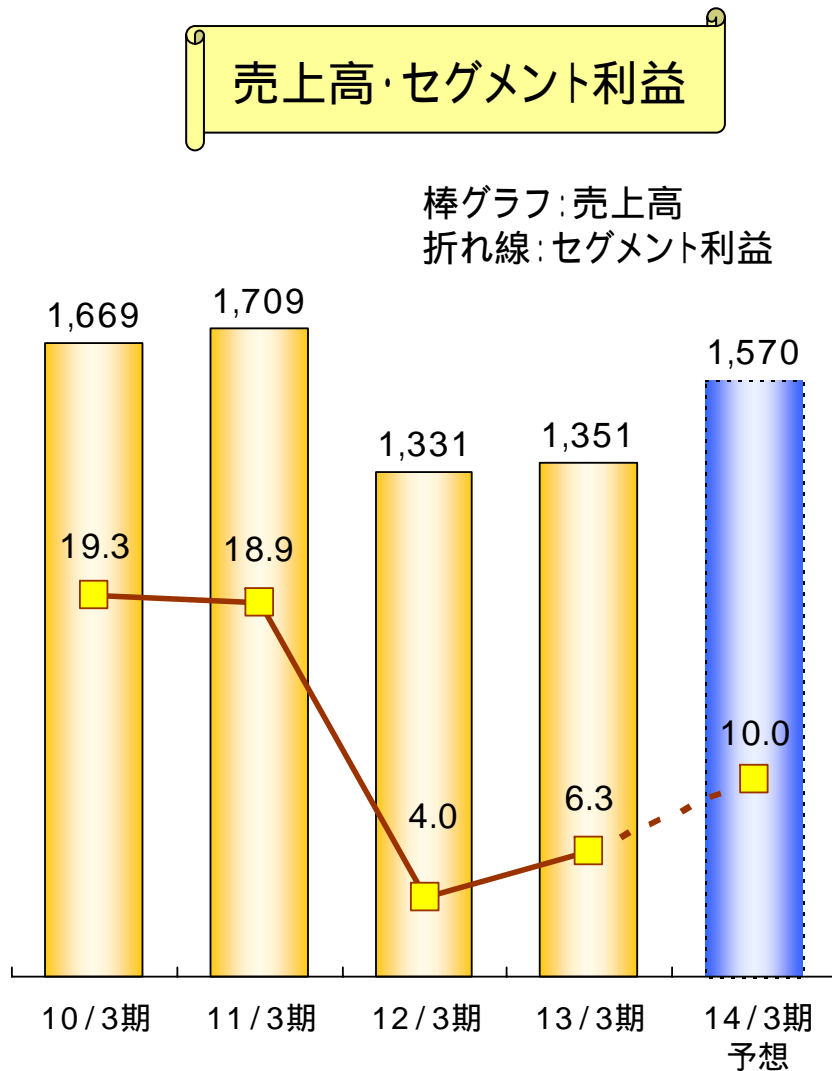
- ・連結業績は増収増益の見通し、安定的な配当の実施を重視
- ・前期と同額の1株当たり20円（中間、期末各10円）
- ・連結配当性向 41.1%
- ・10年3月期～14年3月期平均連結配当性向 50.9%

補足資料

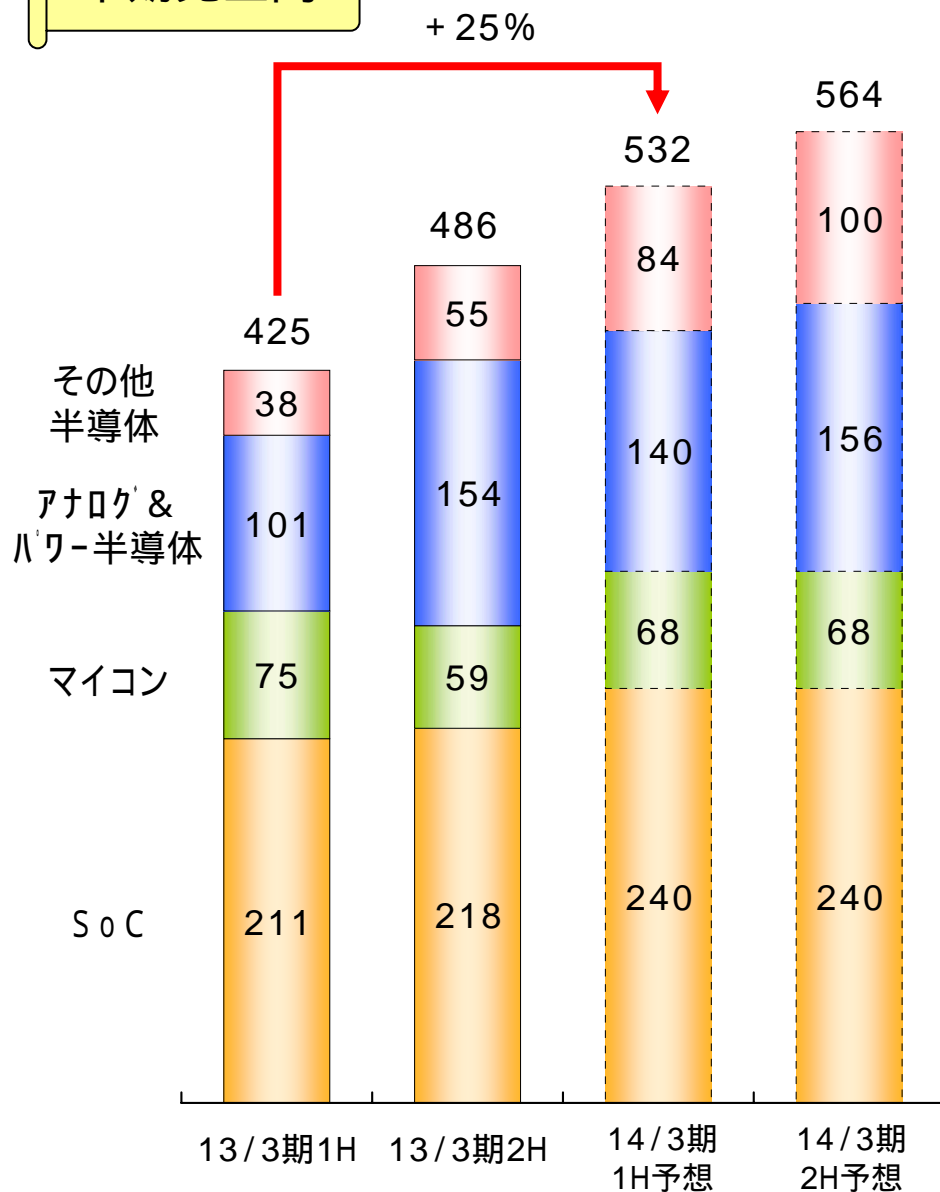
2014年3月期

デバイス事業業績予想

■ 14年3月期予想は、売上高前期比+16%、セグメント利益前期比+58%
 モバイル向けの拡大、新規ビジネスの立ち上がりによる売上高の増加を見込む



半期売上高



【前年同期比増減内容】

SoC (システムLSI)

ゲーム機向けは増加

デジタルAV向けが減少

マイコン

車載/白物家電向けは増加

デジタルAV/ゲーム機向けが減少

アナログ&パワー半導体

モバイル向けは増加

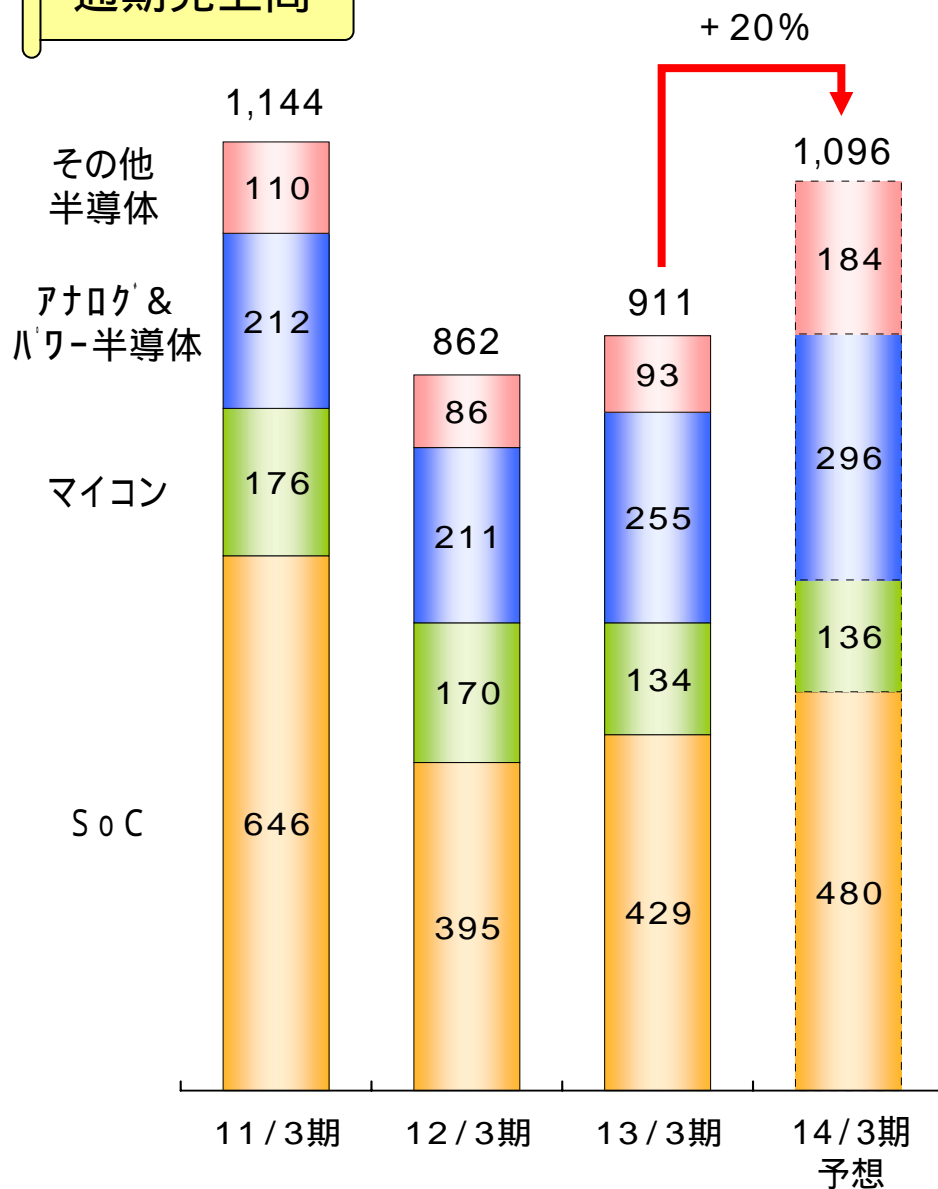
デジタルAV/大型液晶パネル向けが減少

その他半導体

モバイル/HDD/新規ビジネス向けが増加

	14年3月期1H予想	
	13/3期1H比	13/3期2H比
SoC	+14%	+10%
マイコン	9%	+15%
アナログ&P半	+39%	9%
その他半導体	+119%	+51%

通期売上高



【前期比増減内容】

SoC (システムLSI)

ゲーム機向けは増加

デジタルAV向けが減少

マイコン

車載/白物家電向けは増加

デジタルAV/ゲーム機向けが減少

アナログ&パワー半導体

モバイル向けは増加

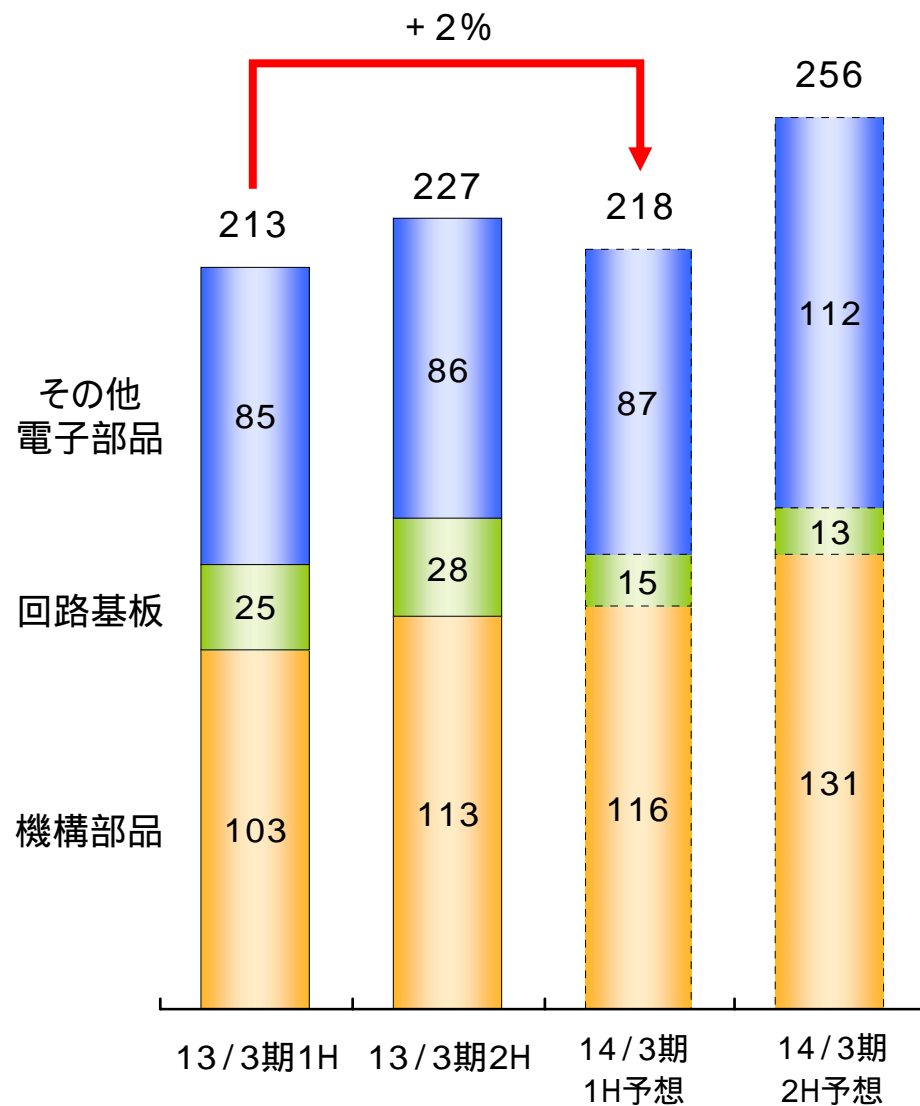
デジタルAV/大型液晶パネル向けが減少

その他半導体

モバイル/HDD/新規ビジネス向けが増加

	前期比
SoC	+12%
マイコン	+1%
アナログ&P半	+16%
その他半導体	+97%

半期売上高



【前年同期比増減内容】

機構部品

モバイル/PC向けが増加

回路基板

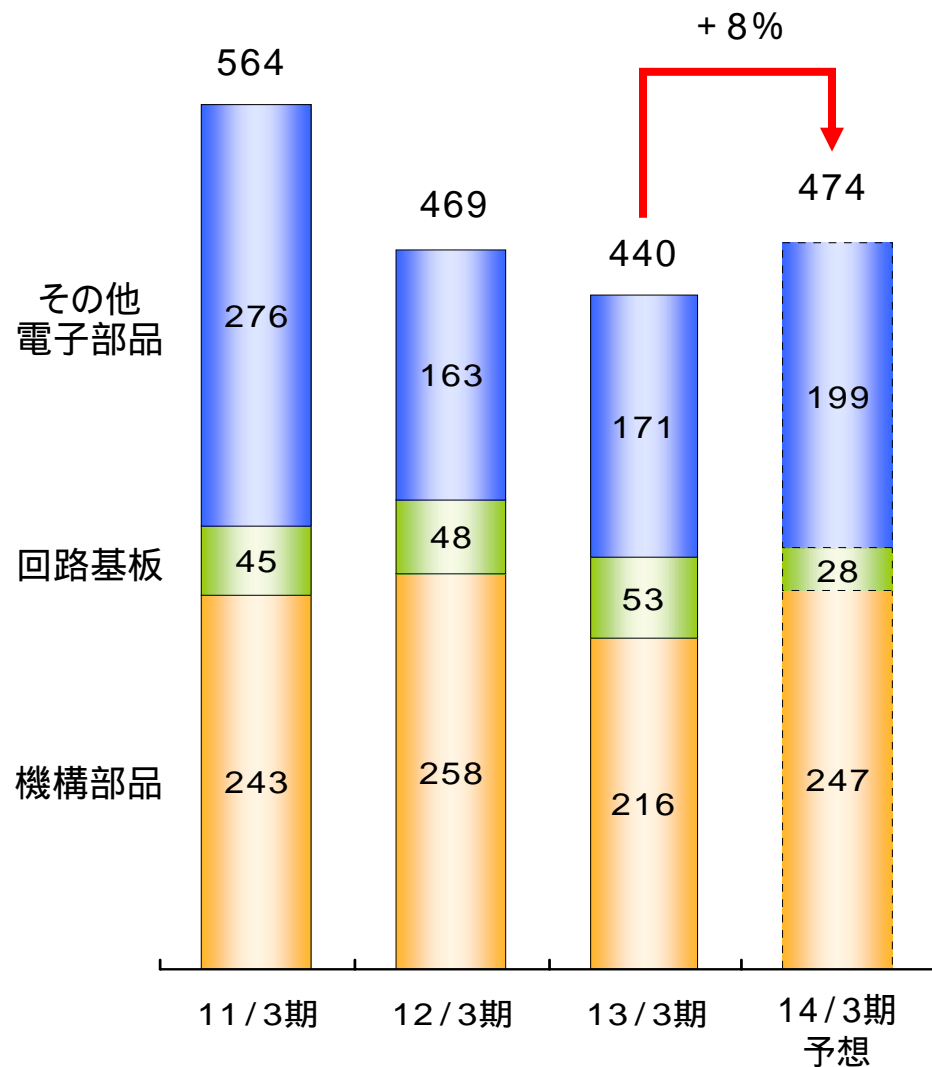
モバイル向けが減少

その他電子部品

素材、新規ビジネスは堅調に推移

	14年3月期1H予想	
	13/3期1H比	13/3期2H比
機構部品	+12%	+3%
回路基板	42%	56%
その他	+3%	+0.2%

通期売上高



【前期比増減内容】

機構部品

モバイル/PC向けが増加

回路基板

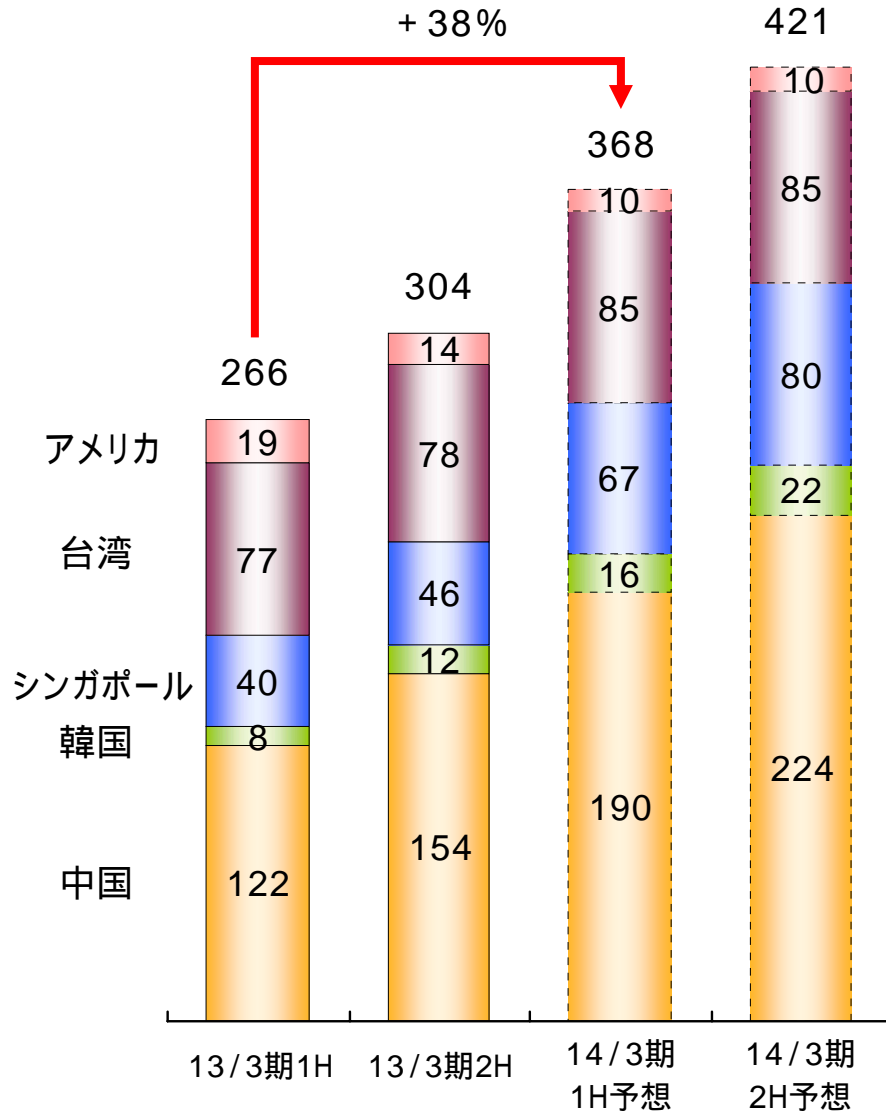
モバイル向けが減少

その他電子部品

素材、新規ビジネスは順調に推移

	前期比
機構部品	+15%
回路基板	47%
その他	+16%

半期売上高



【前年同期比増減内容】

中国

モバイル/デジタル家電/HDD向けが増加
新規ビジネスは順調に拡大

韓国

PC(ディスプレイ)向けが増加

シンガポール(含むタイ)

デジタル家電/HDD向けが増加
14/3月期より三信タイを連結化

台湾

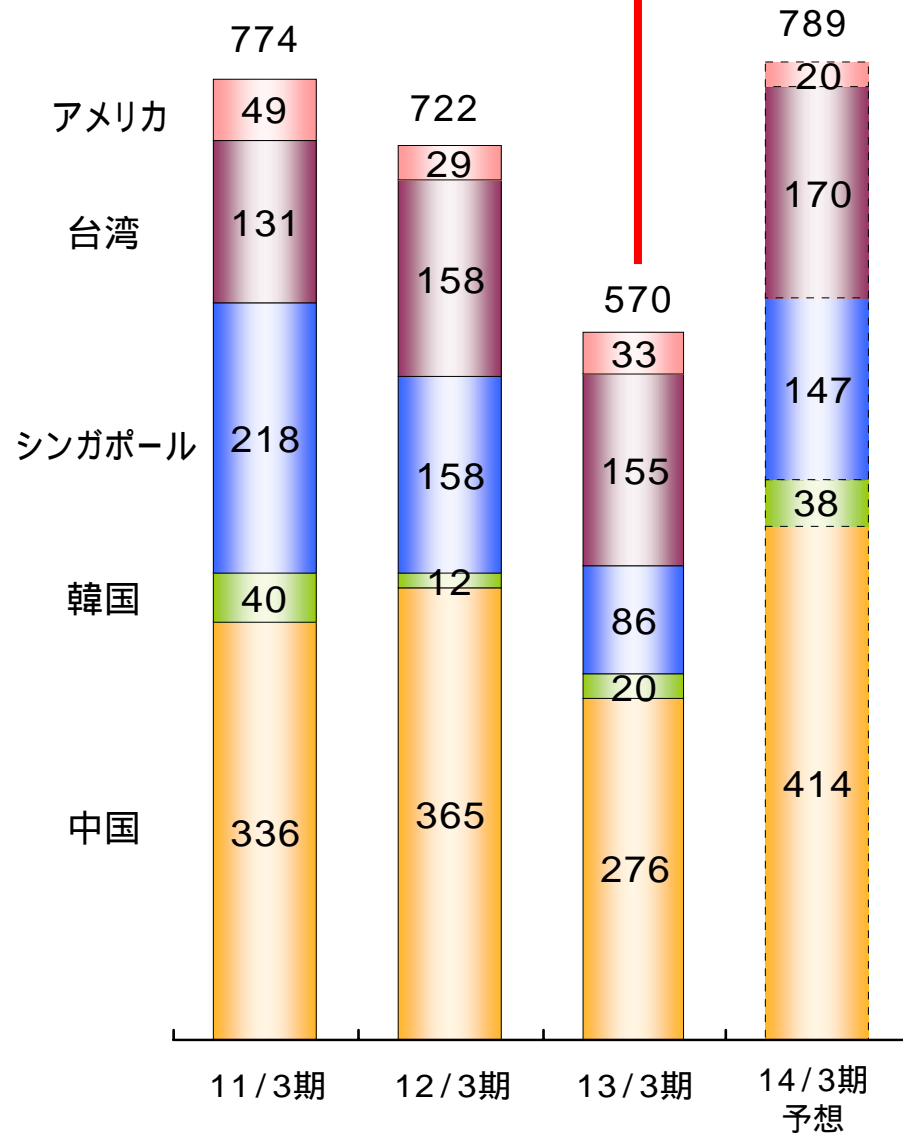
デジタルAV/ゲーム機向けが増加

USA

無線関連IC、メモリ等の新規ビジネスが減少

	14年3月期1H予想	
	13/3期1H比	13/3期2H比
中国	+55%	+23%
韓国	+112%	+32%
シンガポール	+67%	+45%
台湾	+12%	+10%
アメリカ	48%	31%

通期売上高



【前期比増減内容】

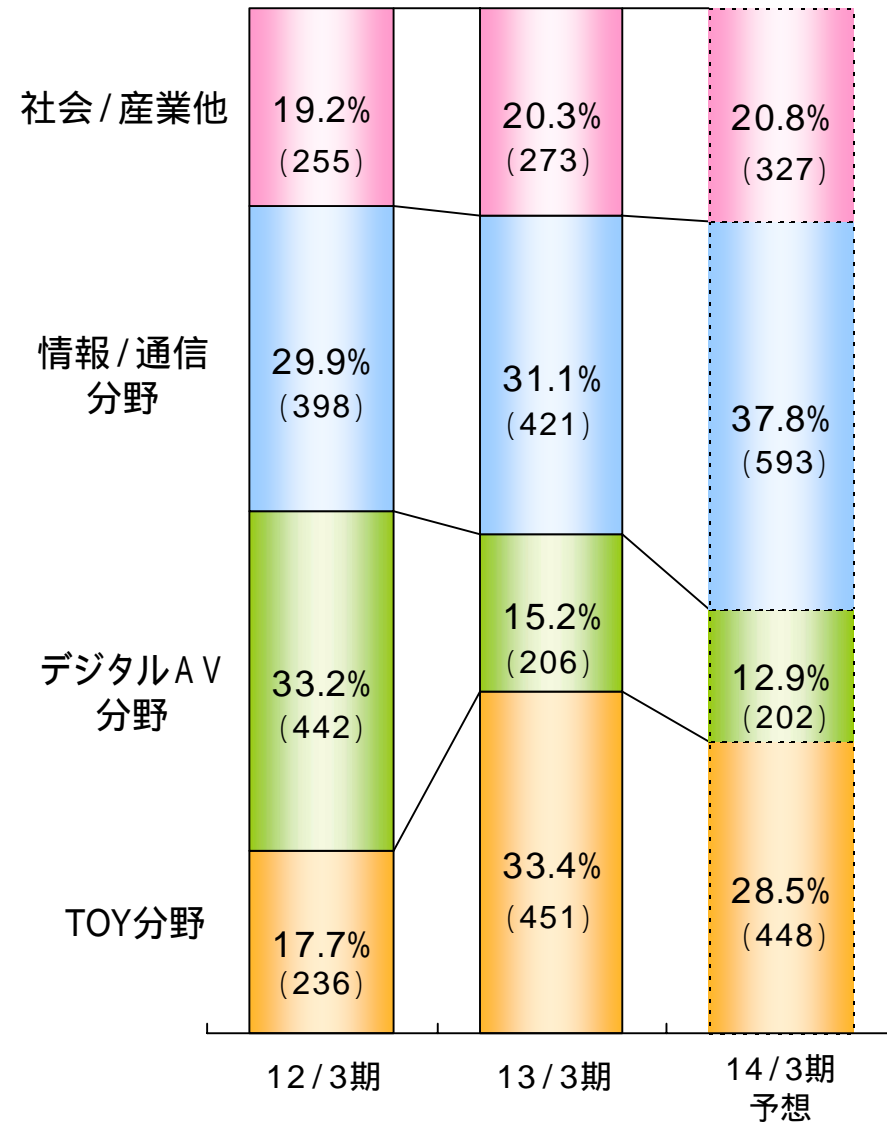
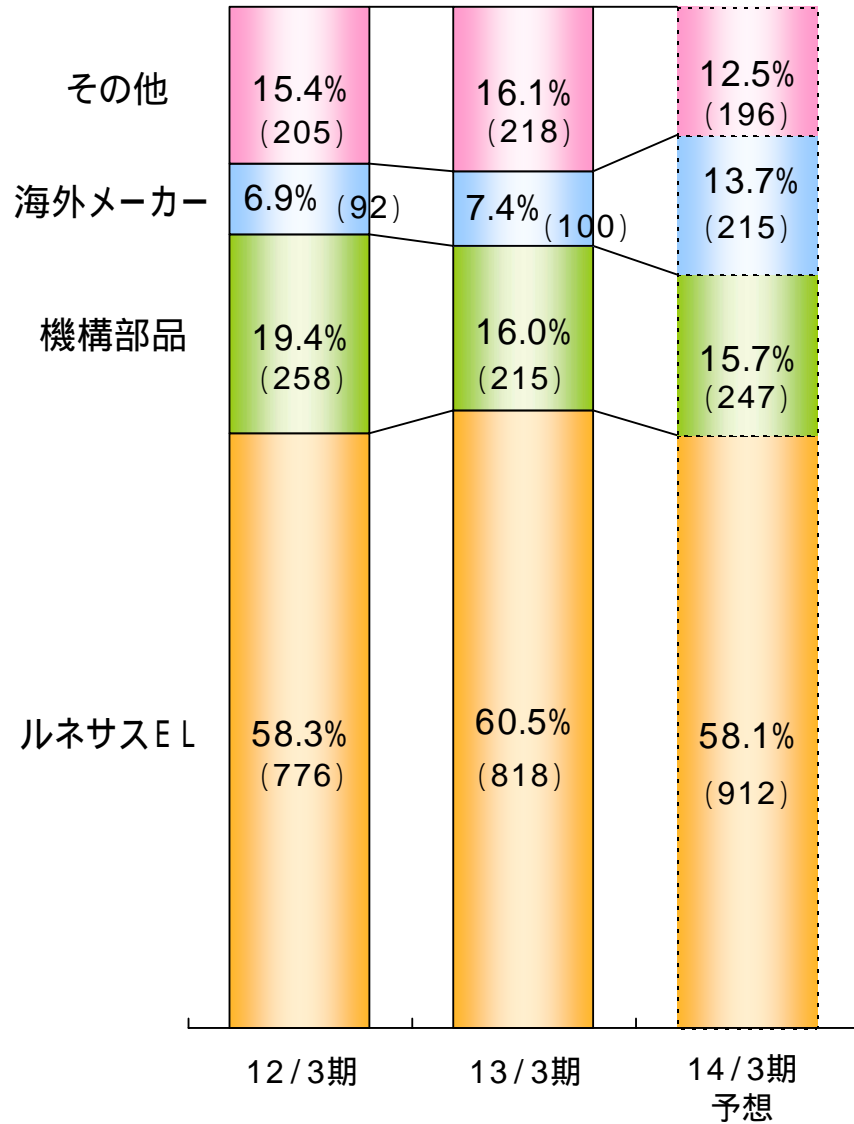
- 中国**
モバイル/デジタル家電/HDD向けが増加
新規ビジネスは順調に拡大
- 韓国**
PC(ディスプレイ)向けが増加
- シンガポール(含むタイ)**
デジタル家電/HDD向けが増加
14/3月期より三信タイを連結化
- 台湾**
デジタルAV/ゲーム機向けが増加
下期に新規ビジネスの立ち上げを見込む
- USA**
無線関連IC、メモリ等の新規ビジネスが減少

	前期比
中国	+ 50%
韓国	+ 85%
シンガポール	+ 72%
台湾	+ 10%
アメリカ	39%

製品別売上高構成比

()は売上高、億円

分野別売上高構成比



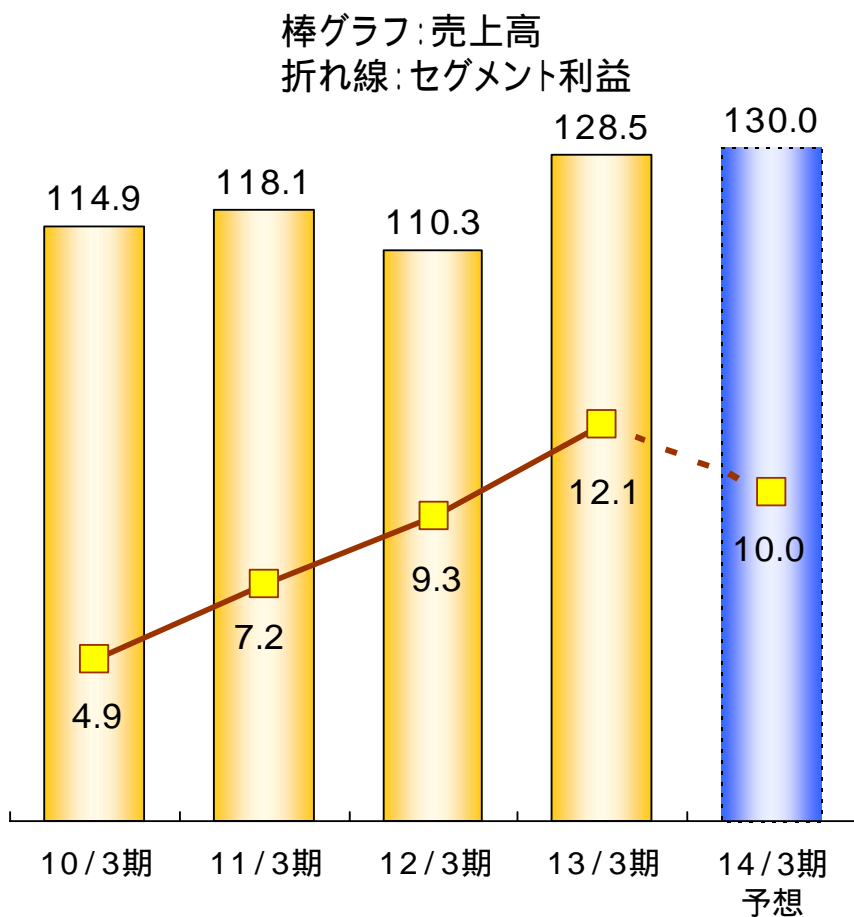
補足資料

2014年3月期

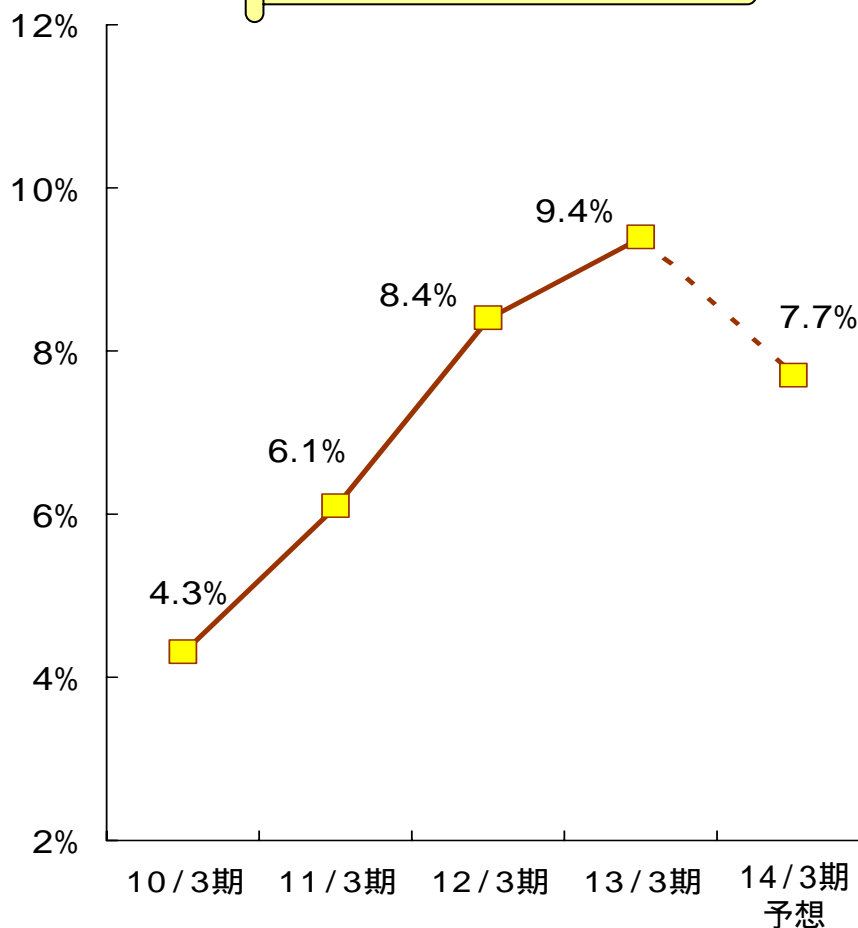
ソリューション事業業績予想

■ 14年3月期予想は、売上高前期比+1%、セグメント利益前期比減少
 セグメント利益は人員増強/調整額の配賦基準変更で減少、ミニムム10億円以上を確保

売上高・セグメント利益

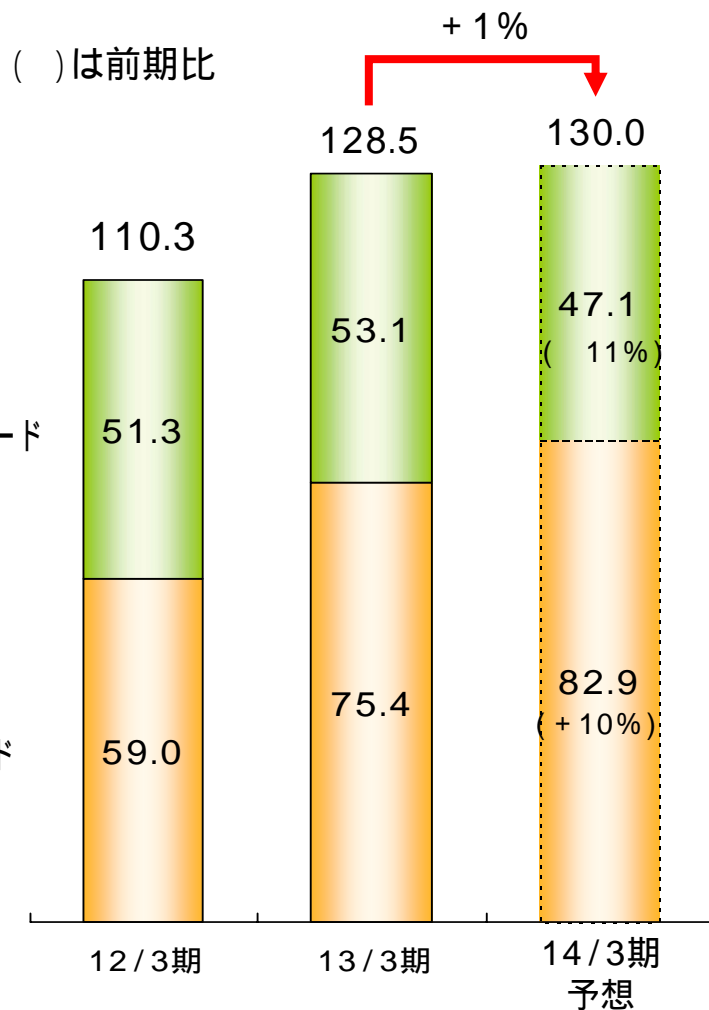


セグメント利益率



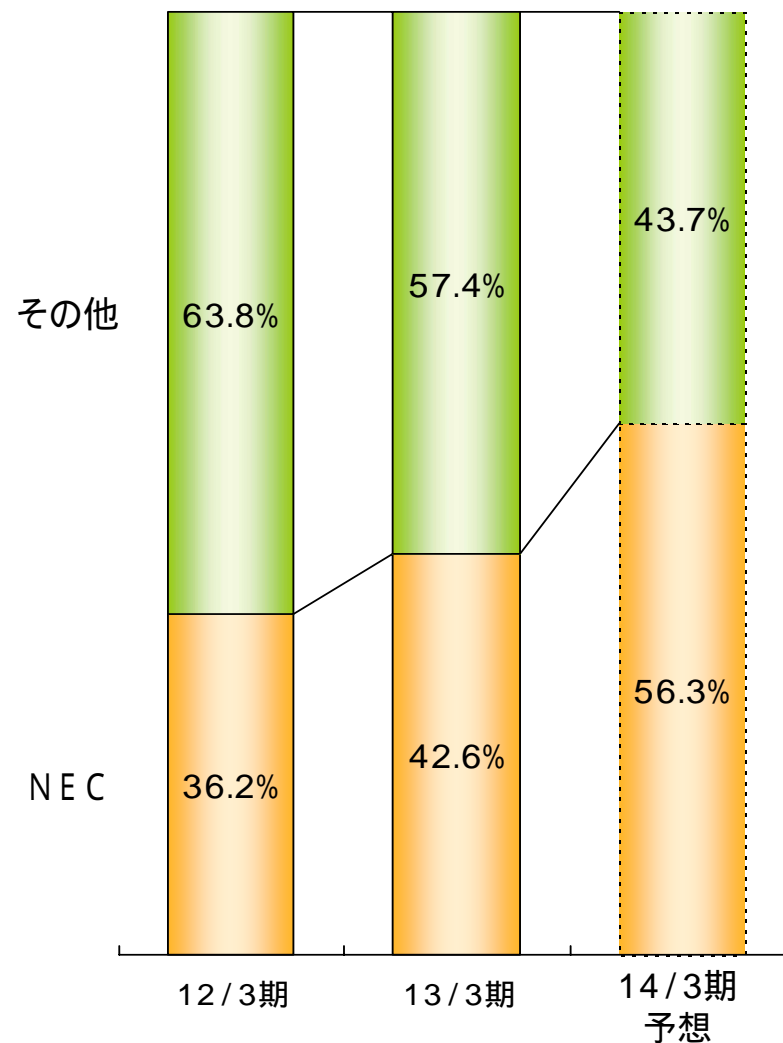
品目別売上高推移

ハード:組み込みシステムが増加
 ノンハード:ハード系/スポット保守が減少

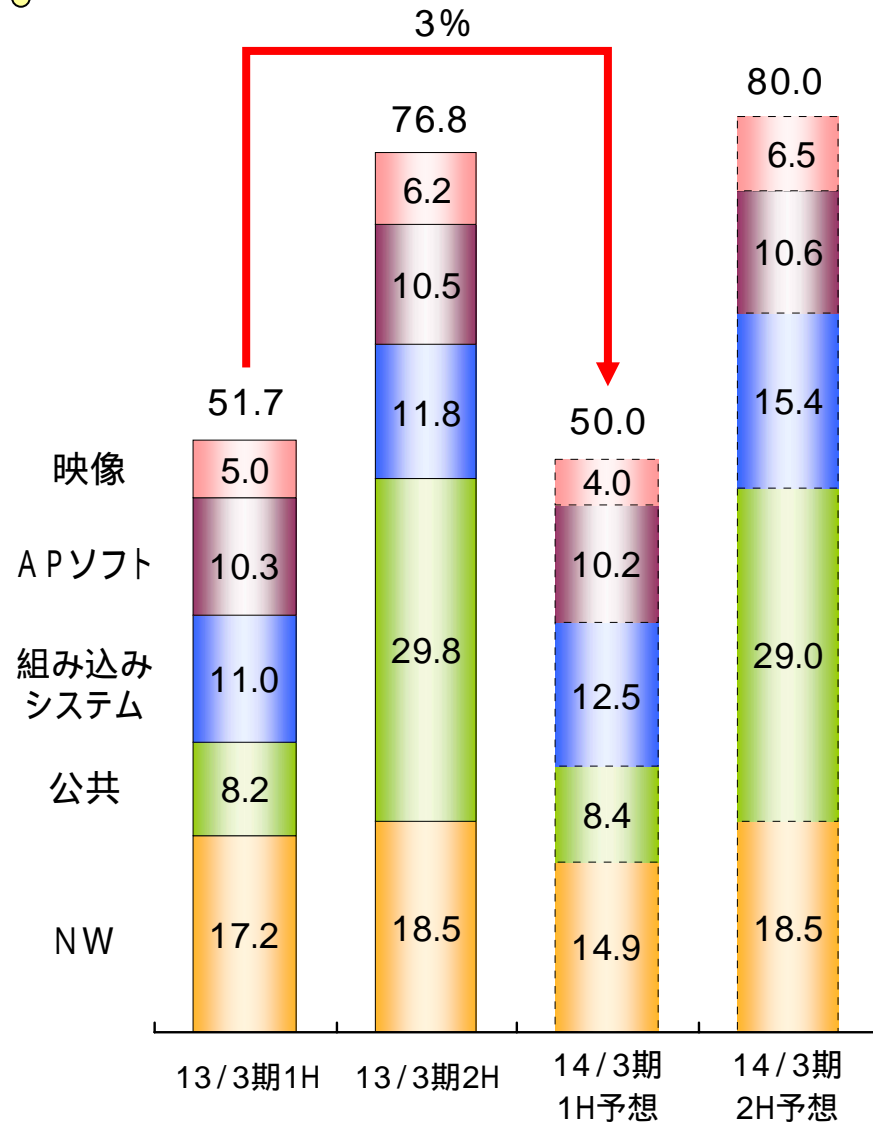


仕入先別売上高構成比

14/3月期予想はNEC比率が50%を超える



半期売上高



【前年同期比増減内容】

NW関連 (NW、公共、組み込みシステム、AP)

公共向けは消防防災が減少も官公庁向け増加

組み込みシステムはサーバー系が増加

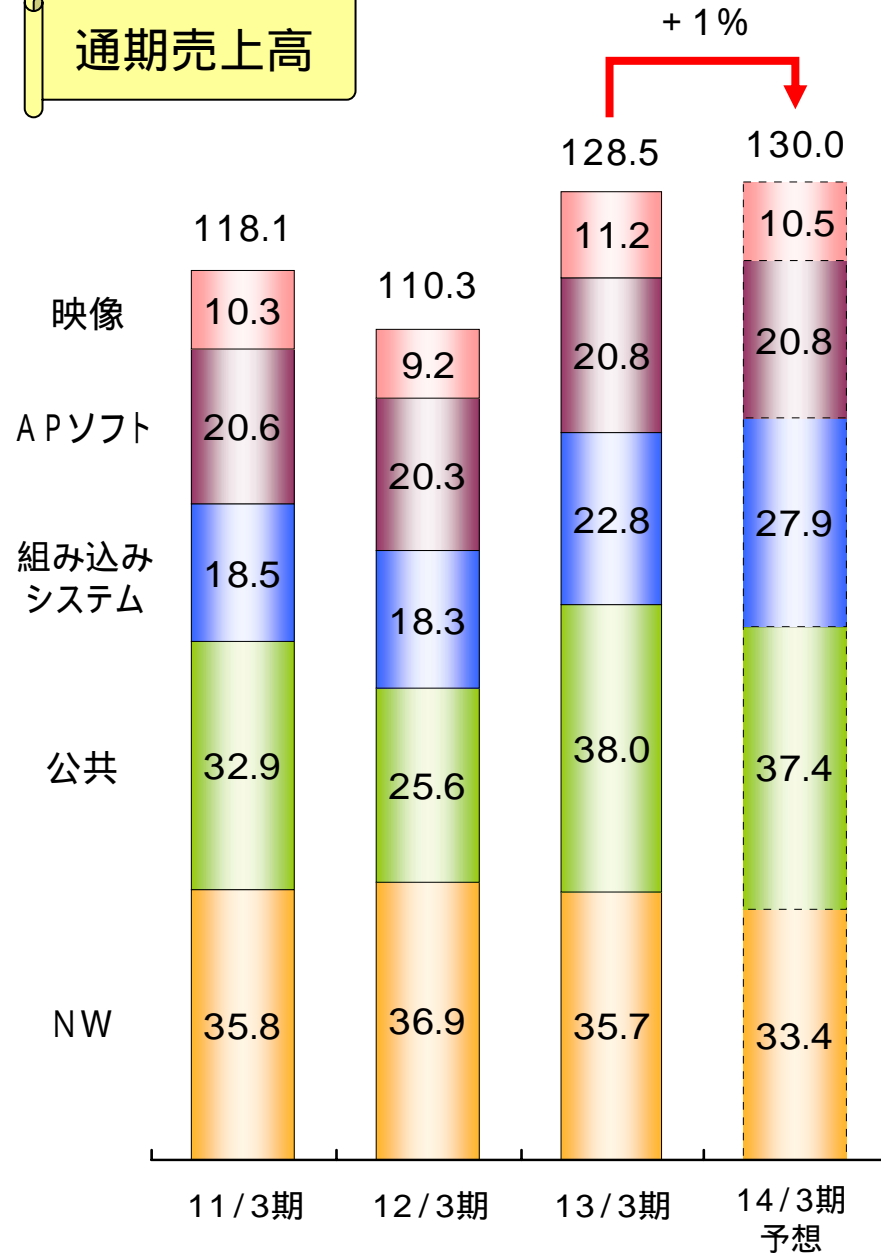
NW、APソフトは減少

映像

送出システム等のシステム案件減少

	14年3月期1H予想	
	13/3期1H比	13/3期2H比
NW	3%	19%
公共	+1%	72%
組み込みシステム	+14%	+6%
APソフト	1%	3%
映像	19%	35%

通期売上高



【前期比増減内容】

NW関連(NW、公共、組み込みシステム、AP)

組み込みシステムはサーバー系が増加

公共向けは官公庁向けが増加も消防防災減少

NW、APソフトは減少

映像

送出システム等のシステム案件減少

	前期比
NW	6%
公共	2%
組み込みシステム	+23%
APソフト	0.3%
映像	6%